

「楽しそう」こそ価値

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

東京オリンピックのチケットの当落が発表され、家族全員落選でした。当選された方、おめでとうございます。

多分、そういう方は日頃の心掛けが良いのでしょう。

子供が授かる前、私は、公園で遊ぶ親子を見て、「何が面白いんだろう。」とっていました。子供が授かって、は

代表取締役社長 吉田治伸

じめてわかりました。公園で子供と遊ぶことは最高の幸せのひとつだと。子供の成長を感じるだけでなく、子供の楽しそうな姿を見る事が自分の幸福だという事に気づきました。人が楽しそうにしている姿、笑っている姿は、それだけで元気や勇気や幸福をもらえるのです。

我々の行っているサービスも同様です。例えば清掃において、イヤイヤ行ったり、つらそうに行ったら、サービスを見た人の感想は、「気の毒に」「かわいそう」でしょう。笑顔で元気に楽しそうに行ったら、「ありがとう。元気もらった。」といわれるのではないのでしょうか？

我々の行っているサービスは任務を果たせばよい、言われた事やれば良いではなく、タダでできる「笑顔」の味つけ、「元気」の味つけ、そして、「楽しそう」という味つけがあって、世の中からの評価や賞賛が得られるのではないのでしょうか？

いくつになってもほめられればうれしいものです。

今年の夏も暑くなりそうです。ご自愛ください。

